



「もっと詳しく知りたい項目や今後掘り下げて学びたい分野」

- ・ホリファーマシーへの対応。
- ・ホリファーマシーに取り組んでいる実例を教えてください。
- ・ホリファーマシーについて多職種で認識していても踏み込めないところがある。どのように対応したらよいのか対応策を具体的に知りたい。
- ・とてもわかりやすいお話しでした。吉田先生の専門(循環器)のお話しもお聞きしてみたいと思いました。
- ・在宅生活の中で身体に影響がしやすい薬や、動きに対して注意する服薬の仕方。
- ・非常にわかりやすく具体的に説明いただきました。
- ・薬剤の内容について。
- ・ホリファーマシー(トレンド)としまして、今後の薬や医療がどうすすんでいって、多職種に関わっていくか、未来の展望を聞いてみたいと思いました。
- ・個々の病名。薬の副作用の話。例)足のむくみ→何を考えていく必要があるのか教えて欲しい。
- ・80歳以上、高齢者の薬物管理について。
- ・とてもわかりやすくホリファーマシーについて学ぶことができた。
- ・ホリファーマシーへの対応で多職種でどのような役割を分担することで、チームとして動けるのかという事を掘り下げていきたい。
- ・薬剤の長期使用によるリスクなど具体的に聞いてみたいです。

「今後の業務で活かせると思ったこと」

- ・訪問看護をする上で、全身状態の観察をし、その状態が服薬から来ているのかも…と考える必要がある。
- ・現在入居の方の服薬、症状について考える機会が来た。
- ・患者さんが飲んでる薬の内容を再度見直し、症状の改善に近付けられるようなアプローチをしていかなければなと思いました。
- ・80歳以上の患者さんにエビデンスがないということ。その方の余命を考えた薬の調整と考えがち。
- ・患者や家族に服用の状況をよく聞いていこうと思っています。
- ・要介護高齢者の方のホリファーマシーの視点でアセスメントをすることの重要性を知りました。
- ・当施設においても多くの内容があり、これだけ必要なのかと疑問になることがある。又、いつまでも同処方があったら処方されたり…。医療と十分連携を取りながら薬内服について真剣に向き合ってQOLとその方にとっての健康維持について考えてみたい。
- ・薬の再確認や利用者(患者)の服薬変化の確認。薬剤に対しての多職種協働。
- ・主治医や薬剤師ともっと相談、共有、協力したい。できると思いました。
- ・ホリファーマシー、自分たちにできることは「患者さんが指示どおり薬を飲んでいるか」これはできると思いました。
- ・リハ対象者の中には浮腫の出ている方が多いのですが、原因を考える視点が増えたと感じます。NsやDrへの報告や相談がしやすくなると思いました。
- ・薬の確認時に視点が変わると思います。
- ・在宅での内服。種類、かかりつけの数(Dr)を把握し、情報を共有していくことが必要であると感じた。
- ・ご自宅訪問し、残薬の確認だけでもできる事だと思いました。更にDr.to多剤について相談できればと思いました。
- ・ホリファーマシーという考えが、背景を知る事で薬に対する見方を知れました。ケアマネとして在宅に訪問した際に見る知る知ろうとする視点理論がわかりました。

「今後の業務で活かせると思ったこと」

- ・薬についてもう少し気を付けて訪問時確認しようと思った。
- ・自分の役目としては、しっかり薬を飲んでいただくこと。残薬の確認。
- ・どのタイミングで薬を減らしていくか、訪問時に薬のチェックを必ず行おうと思う。
- ・薬に対する関心と理解を持ち利用者に接することができればと思います。情報の共有。バイタルの状況の確認。
- ・利用者、家族について正しく飲むことの必要性を説明し、多職種間の協働で利用者家族を支援していけるようにしていきたい。
- ・薬を多く内服している方が、内服できていなかったり悪い症状が起きていたら、主治医へ相談していきたいと感じました。
- ・今までは内服が出来ているかどうか着眼点があったが、薬の個数等、気にかけて確認しようと思った。
- ・専門職として行っている主治医の先生への連携を今後もしっかり行っていきます。
- ・日頃からの観察と医療との連携を高めようと思いました。
- ・薬に対する視点(錠剤数など)。残薬の確認。

「次年度の遠賀中間地域多職種連携に関する希望」

- ・また吉田哲郎Dr.のお話が聞きたいです。
- ・今回の内容は大変為になりました。全関係者が周知できるよう再度開催してほしい。
- ・Dr.も入ったグループワークをしたい。
- ・非常に勉強のになりました。次も薬について、痛み止めについて教えてほしい。
- ・フレイル、サルコペニアについて。
- ・Dr.と連携するためにどうしたら良いかなど学べたらと思います。(今回の様なディスカッションや直接話せる機会があれば)

「在宅療養介護連携推進に向けて気になること・意見」

- ・医師とケアマネの情報共有シートを統一してほしい。「先生への質問やサービス導入の際のご意見を伺う時」等の様式を統一してほしい。
- ・吉田先生のお話し、すごくわかりやすかったです。
- ・多職種研修に参加してDr.をはじめ多くの方と知り合うことができ相談しやすくなりました。本来人見知りなのでとても助かりました。
- ・色々な研修会に参加していきたいと思っている。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。